

## 取組みの方針

### 洪水被害を想定した地区防災計画

新川に隣接している立地から、札幌市浸水ハザードマップでは、新川が氾濫することで多くの住宅が2階まで浸水し、場所によっては木造家屋が倒壊する恐れもあるとされています。近年の気候変動による他都市での豪雨の状況を見ると、私たちの地域でも、いつ洪水被害にあってもおかしくないと危惧しているところです。このことから、このたび長年の懸案であった洪水被害を想定した地区防災計画を策定いたしました。本計画の下、防災への認識を共有し、避難訓練等を重ねることで、前田ゆたか町内会に住む皆さんの命を守る行動につなげていきたいと考えています。

#### 1) 地区の概要

前田ゆたか町内会の区域の北東には二級河川である新川が隣接して流れている。

地区内には前田中央小学校、地区周辺には前田中学校、前田北中学校、北海道科学大学などの教育施設がある。

地区内の住居には戸建てが多い。2024年10月1日現在、約600世帯が加入している。

#### 2) 災害リスクと課題

新川は氾濫を防ぐよう整備されているが、近年の気候変動による長時間に及ぶ集中豪雨での氾濫が懸念される。

札幌市地震防災マップでは、前田ゆたか町内会では最大で震度6強から7の地震が予想されている。また、地震の発生による液状化の危険度が高い区域とされている。

避難行動要支援者名簿を取得しているが、要支援者の件数も増えているため、支援者の確保が課題となっている。

#### 3) 取組の概要

モデル地区指定以前には、地震災害を想定し自主防災の冊子を作成していた。しかし新川の氾濫の懸念があり、本計画は浸水・洪水被害に特化した地区防災計画とした。

専門家による講演会を実施し、河川氾濫の事例、前田ゆたか町内会における災害特性、要配慮者支援に関する事例と考え方を学ぶ機会とした。ワークショップでは講演の内容を踏まえ、自宅から避難所までの避難経路の確認、要配慮者支援に関する取組を検討した。

今後の取組として、今回策定した計画に基づき、広報啓発活動や避難訓練などを実施していく。また、要配慮者支援について、引き続き取組を進めていく。

#### 4) 地区防災計画の取組状況

年 月	項 目	内 容
R 4	地区防災計画に係るモデル地区決定通知	
R 4.10	研修・講演会	テーマ：みんなで考えよう、地区防災計画 講師：札幌市危機管理局
R 5.3	防災講演会	テーマ：自主防災組織の役割と必要性 講師：北海道教育アドバイザー／気象予報士 住友 静恵氏
R 5.8	意見交換	町連・事業者・行政との意見交換
R 5.10	防災講演会	テーマ：大雨による災害から命を守るために 講師：特定非営利活動法人環境防災総合政策研究機構 上席研究員 伊藤 晋氏
R 5.12	R 5 年度第 1 回WS	図上防災訓練（洪水）の実施
R 6.1	R 5 年度第 2 回WS・講演会	テーマ：平時・災害時における要配慮者避難支援 講師：さっぽろ地域づくりネットワーク ワン・オール 相談支援専門員 高村 亮太氏
R 6.10	地区防災計画説明会	地区防災計画の概要、要支援者への支援について説明

#### 5) 取組みの様子



防災講演会（R 5.10）



R 5 年度第 2 回WS（R 6.1）

## 6) 地区防災計画の概要

前田ゆたか町内会の計画の項目と、計画内容の一部を以下に示す。

### 計画の構成

- ・ 地区の特性
- ・ 想定される大雨災害
- ・ 雨が降り続いたときの行動
- ・ 洪水避難地図
- ・ 避難
- ・ 日頃の備え
- ・ 個別避難計画
- ・ 前田ゆたか町内会自主防災会組織図
- ・ 今後の活動及び活動目標
- ・ (資料) 前田ゆたか町内会防災マップ
- ・ (資料) 洪水避難地図、内水氾濫避難地図、液状化危険度図

#### (大雨による災害)

- ・ 大雨による災害には、河川氾濫と内水氾濫、土砂災害の3つがありますが、前田ゆたか町内会では、河川氾濫と内水氾濫に注意が必要です。
- ・ 河川氾濫とは、川の水位が上昇して、水が堤防の上を越える、または、堤防が壊れて水が溢れ出る現象です。また、内水氾濫とは、雨水を河川に流す排水が追い付かずに、マンホールや側溝から水が溢れ出る現象です。
- ・ 30cm 水が付くと、車は進まなくなると言われていますので、歩いて避難する必要があります。



#### ③ 雨が降り続いたときの行動

##### (心得)

- ・ 地震と違い、雨は降り始めですぐに災害が起こるわけではありません。災害になる前に正しく行動することで、命を守ることができます。
- ・ 「まだ大丈夫」「きっと大丈夫」という先入観が、逃げ遅れにつながります。情報に基づいた早めの行動が大切です。
- ・ 雨が止んでも、川の水位は上昇し、氾濫の恐れは続きます。危険な場所には、決して近づかないようにしましょう。

##### (時間の経過と河川等の様子)



2

## ① 想定される災害、雨が降り続いたときの行動

#### ⑤ 避難

##### (風水害の警戒レベルによる避難行動)



##### (情報収集・避難開始)

- ・ 雨が降り続いているときには、テレビやラジオ、インターネットで、随時気象情報を確認してください。
- ・ 上の警戒レベルに注意し、警戒レベル2の時点で非常持出品などを確認、警戒レベル3と4の時点では躊躇せずに避難を開始してください。

##### (避難場所)

- ・ 最寄りの指定避難所は、前田中央小学校になりますが、どこかの指定避難所に避難してもよいことになっています。
- ・ 後のページの「前田ゆたか町内会防災マップ」で、自宅から避難場所へのルートを確認してください。また、時間があるときに、実際に歩いてみて、ルート上に危険となる場所がないかなど確認してください。
- ・ 親戚や知人宅に避難することも有効です。普段から相手方に相談しておきましょう。その際、車で向かうときには、特に早めに移動を開始する必要があります。

4

## ② 警戒レベル別避難行動



#### ⑦ 個別避難計画

- ・ 高齢者や障がいのある方など、本人や家族だけで避難することが困難な方について、町内で誰が支援し、どこに避難するかなどをあらかじめ整理したものを個別避難計画とします。
- ・ 個別避難計画の策定は任意ですが、前田ゆたか町内会では、平成31年度以降、札幌市から避難行動要支援者名簿を取得し、支援を必要とされる方の了承を得ながら策定を進めています。
- ・ 個別避難計画に基づく支援は、避難を手伝うだけではなく、避難が必要な状況かどうかなど情報のやり取りも行っていますので、日頃からのかわりも大切にしています。
- ・ 災害時の避難に支援を必要とされる方は、町内会役員にご相談ください。

#### ⑧ 前田ゆたか町内会自主防災会 組織図



#### ⑨ 今後の活動及び活動目標

- ・ 本計画を基に、広報啓発活動を重ね、新川に隣接しているという地区の特性を知っていただくとともに、大雨災害の危険性を再認識していただきます。
- ・ 本計画を踏まえ、定期的に避難訓練等を開催し、前田ゆたか町内会に住む皆さん一人ひとりの防災意識の向上、並びに命を守るための行動の習得を図ります。
- ・ 本計画を参考に、多くの方が非常持出品や備蓄品を備えるよう普及啓発に努めます。
- ・ 個別避難計画に基づく支援者・要支援者の登録を進め、逃げ遅れてしまう方を一人も出さないための体制の整備を進めます。
- ・ 町内会のイベント等を計画的に実施し、有事の際、円滑に協力し合えるよう、日常から顔の見える関係性の構築に努めます。

6

## ③ 個別避難計画、組織図、今後の活動



④前田ゆたか町内会防災マップ

## 計画の説明

### ①想定される災害、雨が降り続いたときの行動

新川の氾濫を想定し、前田ゆたか町内会において起こり得る事象について説明した。

### ②警戒レベル別避難行動

警戒レベルに応じ行動の指針を掲載した。また、避難場所や避難方法の検討に役立つ情報を掲載した。

### ③個別避難計画、組織図、今後の活動

個別避難計画：個別避難計画に関する町内会の取組を周知し、支援が必要な方からの相談を呼びかける内容とした。

組 織 図：自主防災会の組織図として、班を構成する部会と役割を掲載した。

今 後 の 活 動：町内会の今後の活動と目標を示した。

### ④前田ゆたか町内会防災マップ

資料として前田ゆたか町内会の防災マップを添付し、自宅から避難場所へのルートを確認できるようにした。